

タイトル	<i>The Story of Ferdinand</i>				
著者（文・絵）	Munro Leaf				
出版年	1936	出版社	Grosset & Dunlap		
翻訳版	『はなのすきなうし』光吉夏弥訳、岩波の子どもの本、1954年				
総語数	737語	ページ数	32ページ	YLレベル	1.5
あらすじ					
<p>舞台はスペイン、主人公はフェルディナンドという牡牛で、花をこよなく愛し、仲間たちが闘牛として戦うことを夢見ている中、一人牧場でのんびり過ごすことに安らぎを感じている「変わり者」です。しかしひよんなことから獰猛な牡牛と誤解され、闘牛場に無理やり連行されるハメに。それでもフェルディナンドは最後まで戦おうとせず、仕方なくもとにいた牧場に戻されるのでした。</p>					
紹介					
<p>アメリカ映画『しあわせの隠れ場所』（2009）で主人公を勇気づけるための本として劇中に登場し、アニメーション化もされている有名な絵本です。この作品はスペイン内戦勃発の2か月後に発表されたこともあり、戦おうとしないフェルディナンドは平和主義者（pacifist）と解釈され、礼賛されました。（逆に弱腰の姿勢として非難されてもいます。）作者自身は政治的意図を否定しているそうですが、スペイン内戦当時の状況を照らし合わせてみると、闘牛に登場させるため牡牛の品定めに来た男たちが、スペインを取り囲むヨーロッパ列強の姿に重なります。その男たちがちょうど5人いて、その姿がドイツ、ソ連、イギリス、フランス、イタリアを擬人化しているように見えなくもないため、ついそういう想像力をたくましくしてしまうところです。こういう解釈や平和主義のシンボルだといった主張も興味深く、闘牛自体も、その是非について動物愛護や伝統文化継承の観点から活発な議論が期待できるトピックでもあります。</p> <p>けれども、さまざまな解釈や感想の中で、とりわけ人の心をつかむのは、「周りのみんなと違う自分」と、どう折り合いをつけて生きていくか、というテーマだと思われまます。牡牛として生まれたならば当然闘牛を目指すのが牡牛らしい生き方、と決めつけず、それぞれの個性を尊重すべきというのが理想ですが、実際私たちは人と違う自分を容易に受け入れられないこともあります。周りの理解がない場合はなおさらで、男らしさ・女らしさを強制する社会的通念、いじめの問題等、人間社会の生きづらさは皆大なり小なり感じることがあるでしょう。周囲の評価を気にせず自分らしさを受け入れているフェルディナンドは見事なまでにマイペースで、まさに現代のロールモデルです。</p> <p>白黒のイラストも、とても表情豊かで、遊び心もあります。スペインやポルトガルはコルクの生産地として有名ですが、コルクの木陰がフェルディナンドのお気に入りの場所。イラストに描かれた木にはなんとコルク栓がぶら下がっています。闘牛場に登場する際のフェルディナンドの表情が見ものです。ユーモアを忘れないのも日々の生活に余裕をもたらす大事なスキルです。</p>					

指導ポイント・授業活用例・学生の声など

【注意すべき英語表現ほか】

闘牛に関する単語が出てきます。Banderillero (闘牛中に牛の首や肩に飾りつきの槍バンデリリャを刺す闘牛士)、picador (馬上から槍で牛を突く闘牛士)、matador (牛にとどめを刺す主役の闘牛士) など。もともとスペイン語で特殊な単語のため、とりわけ覚える必要はないものですが、こういった単語のせいで難しく感じてしまう学生もいると考えられるので、あらかじめ伝えておくとよいでしょう。

【授業活用例】

ディスカッション

以下のようなテーマで話し合いをしてみましょう。なお、ワールドカフェの形式もお勧めです。ワールドカフェの手順については本 HP アクティビティ欄の「ワールドカフェ」を参照してください。

- 自分が周りのみんなとは違うなと思ったことはありますか？ その時どんな気持ちでしたか？ Have you ever felt that you were different from others? How did it make you feel?
- 闘牛は残酷だと思いますか？ 禁止すべきだと思いますか？ 動物の権利についてどう思いますか？ Do you think bull-fighting is cruel? Do you think it should be banned? What do you think of animal rights?
- 格闘技はエンターテインメントだと思いますか？ ボクシングや、レスリング、闘牛などについてどう思いますか？ Do you think “fighting” is an entertainment? What do you think of a sport like boxing, wrestling, and bull-fighting?
- 仕事（キャリア）をどう選ぶべきだと思いますか？ 自分が得意なことを仕事にする？ 好きな（したい）仕事をする？ How should we choose our career? Based on what we can do well or what we want to do?
- このお話の中で気がついたこと、気になったこと、疑問に思ったこと、不思議に思ったことなどはありますか？ イラストもじっくり観察してみましょう。Was there any part that grabbed your attention? Anything unusual/interesting you noticed about this book? Take a closer look at the illustration, too.

【学生の声】

この作品は、何のヒントも与えずにメッセージや解釈について尋ねても、最初はピンとこないようです。スペインの内戦時の状況を表した解釈があることなどに紹介すると、発想の糸口となり、新たな考えが浮かんでくるようです。以下は、ワールドカフェ式のディスカッションを行った際に語ったテーマから抜粋した学生の意見です。

この作品のメッセージ・テーマは何だと思いますか

- 自分の個をしっかり持つ
- 周りに流されない
- 身勝手な人間の行動で苦しむ動物
- 幸せとは何か

自分が人と違うと思う時はどんなときですか？

- 友達とごはん行くと一人だけめっちゃ食べてる
- ケガしやすい
- 友人の知っている芸能人を知らない
- 海に毎週末ほとんど行く
- 人とかぶるのがすきではない
- 一人でいるのが気にならない
- 声が小さくて伝わらないことがある 悲しい
- マジックバー バイト経験あり

など、実に多様な個性に気づくことができます。

関連作品・参考 URL

邦訳版『はなのすきなうし』は、右ページから縦書きで書かれており、見開き右ページに文、左ページにイラストが来るように再構成されています。1954年に訳されているためか、カタカナ表記を使わず、すぺいん、ふえるじなんど、こるく、まどりーど、のようにひらがなの太字で表記されています。時代を感じさせる表記に懐かしいと感じる人もいれば、読みにくいと感じる人もいそうです。

備考

本稿の一部は大修館『英語教育』2020年1月号 (Vol.68, No.11) の口絵「絵本を探しに」[10]の原稿を大幅に改訂したものです。

(文責：小林めぐみ)